拝啓　暑さ（はなはだ）厳しい折柄、貴誌の創刊をお慶び
申上げます。
下されば、まことに有難かるべきことと存じました。
しかし、
く感謝いたします。又
きこまれた
巻頭に
上げましたやうに、三浦
浩さんにあくまで
ですし、又
先生
ばかりでなく
パンフレットは
のに有る、既に手元に一冊
に出が、何とかして
今年はじめ
の方編輯
期待致します

十年一月一日

東京市目黒區洗足一四四七

岡山巖

先日は
大村
子は
おきまして
ましたが、この事
ていただけることと
れ或個人としてもいつ
いつ一日と存じます
生及びお
しております。

岡山巖

ありがとうございました。
おきまして
又
とのことです
たので
をしかし
りこの方
二

東京市淀橋區中野町一〇八三ノ一二

岡山巖

（治療及處方社原）